1か　あらかじめ見たルデヤ

使 16:15　そして、彼女も、またその家族もバプテスマを受けたとき、彼女は、「私を主に忠実な者とお思いでしたら、どうか、私の家に来てお泊まりください」と言って頼み、強いてそうさせた。

1. 神様が備えられた弟子でした

ーパウロはルデヤという弟子に会いました

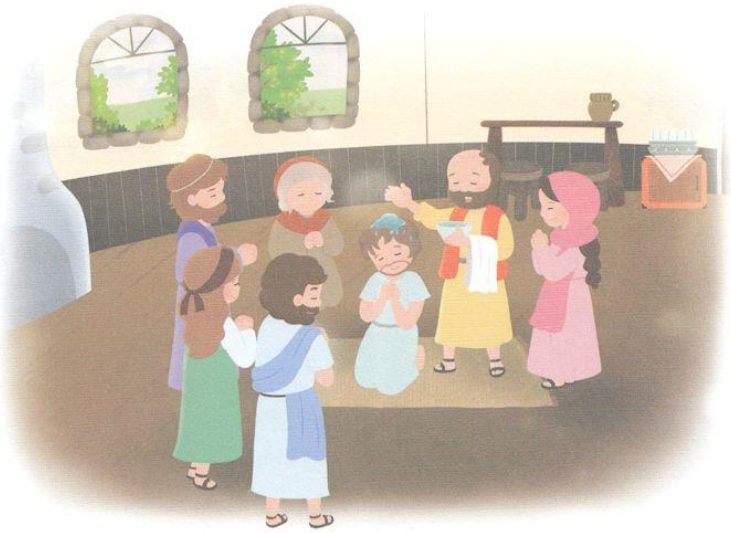
1）ルデヤの名前の意味は「生産」です
2）ルデヤはヨーロッパ最初の聖徒でした
3）ルデヤは手工業が発展していたテアテラ市の出身でした
4）ルデヤはピリピに移動して紫布の商人をしていました

2. ルデヤはパウロが神様のみこころを求めて祈ったトロアスの夜のあとに会った弟子でした（使 16:6〜10）

1）パウロはマケドニヤに行くために船でトロアスから出発しました（使 16:11）
2）主がルデヤの心を開いてパウロの語る事に心を留めるようにされました（使 16:14）
3）ルデヤはパウロが伝えた福音を聞いて、自分の家を礼拝の場所として提供しました（使 16:15）

3. ルデヤに会った以降に起きたことがあります

1）パウロが悪霊につかれた女奴隷に会った事件をルデヤは見ました（使 16:16〜18）
2）パウロが監獄に入れられて、看守とその家族を伝道したことをルデヤは聞きました（使 16:19〜40）
3）テアテラ市のことを心を痛めて祈ったルデヤを通して、ピリピ教会が建ちました



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

04

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

2か

あらかじめ見たヤソン

使 17:6　しかし、見つからないので、ヤソンと兄弟たちの幾人かを、町の役人たちのところへひっぱって行き、大声でこう言った。「世界中を騒がせて来た者たちが、ここにも入り込んでいます。

1. 神様があらかじめ備えられた弟子でした

ーパウロはヤソンという弟子に会いました

1）ヤソンという名前の意味は「救いのいやし」です

2）ヤソンはテサロニケ人でした

3）ヤソンの家はパウロが第２次伝道旅行のときに留まったところでした

4）ヤソンは、パウロとシラスの代わりにしばらく投獄されました

2. パウロチームを通して現場で驚くことが起きました

1）パウロと彼のチームはユダヤ人の会堂に行きました（使 17:1）

2）パウロは自分がいつもしているように（規定）三つの安息日にわたって聖書に基づいて論じました（使 17:2）

3）パウロの証言を聞いて、ギリシヤ人、貴婦人がパウロとシラスに従いました（使17:3〜4）

4）パウロはキリストの当為性をあかししました

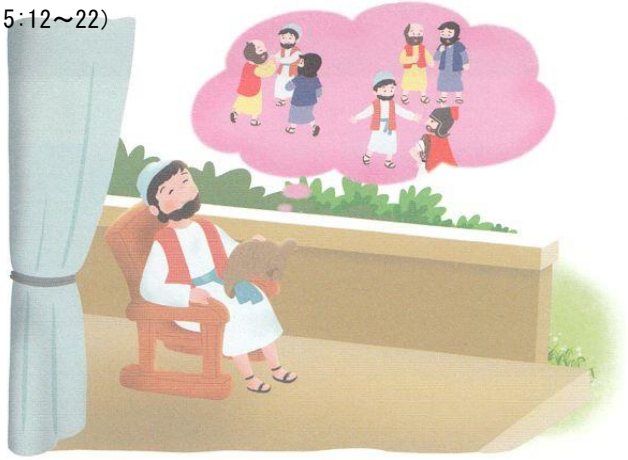
5）テサロニケの残りの者はヤソンでした

3. 以降に起きたことがあります

1）テサロニケ教会の信徒たちの信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望みの忍耐を伝道者たちが思い起こしました。（Ｉテサ 1:3）

2）テサロニケ教会は力と聖霊と強い確信を持っていました（Ｉテサ 1:5）

3）パウロは手紙を送ってテサロニケ教会に対する神様のみこころを伝えました（Ｉテサ 5:12〜22）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

11

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

あらかじめ見た重職者

ルデヤ、ヤソン、プリスカ夫婦、家主のガイオ。みなさん！彼らの名前をどこかで聞いたことはありませんか？そうです。4月号学院福音化で紹介されている「あらかじめ見て味わった重職たち」です。今月は、この人たちを通して、私たちがどんな信仰を持つべきかを学ぶ時間を持ちましょう。さっそく、はじめましょう。

1. あらかじめ見たルデヤ

ルデヤは手工業が発達していたテアテラ市からピリピに移動して、紫布の商人をしていました。ルデヤという名前は「生産」という意味で「ルデヤ都市の女性」という呼び名です。彼女の本名は「ユウオデヤ」または「スントケ」だと推測されています。（ピリピ 4:2）神様を信じたルデヤは、偶像でいっぱいだったピリピ地域のために祈って「あらかじめ見て」いました。

そのようなある日、彼女はパウロが伝える福音を聞きました。そのとき、ルデヤは自分の家を礼拝の場所として提供しました。（使 16:15、40）これらのことの後、パウロがピリピで悪霊につかれた女奴隷をいやし、監獄で看守とその家族に伝道した際には、ルデヤの家が福音のみことばを伝える場所として用いられ、ピリピ教会という作品が誕生するきっかけになりました。

2. あらかじめ見たヤソン

「ヤソン」という名前は「救いのいやし」という意味です。彼はテサロニケ地域でパウロとシラスが過ごした家を提供しました。（使 17:1～4）そのおかげでパウロは安らかに会堂でイエスがキリストであることを伝えることができ、このとき、ギリシヤ人と貴婦人がイエス様を信じるようになりました。

ところが、テサロニケに住むユダヤ人がならず者を送って迫害を始めたので、ヤソンと兄弟がパウロとシラスの代わりに監獄に捕えられてしまいました。彼らは保釈金を出すことで解放されたのですが、このような環境の中で、テサロニケ教会という作品が誕生したのです。パウロはローマ 16 章 21 節で、ヤソンを同国人と呼びました。

3. あらかじめ見たプリスカ夫婦

小アジア出身のユダヤ人である夫「アクラ」と、ローマ人と推定される妻「プリスカ」夫婦は、イタリヤで暮らしていたのですが、ローマのクラウデオ皇帝の迫害でコリントに移動しました。（使 18:2）彼らはコリントを訪れたパウロとともに天幕を作って宣教をしました（使 18:3）プリスカはしばしば「プリスキラ」という愛称でパウロから呼ばれていました。パウロがコリントを離れるとき、プリスカ夫婦もいっしょについて行ってパウロを助け（使 18:18）、エペソ地域に残って「アポロ」という牧師を教えました（使 18:24～28）あらかじめ見ていたプリスカ夫婦は、ローマ福音化の主役になりました（Ⅰコリント 16:19、ローマ 16:3、Ⅱテモテ 4:19）

5. あらかじめ見たガイオ

「ガイオ」という名前には「喜ぶ、私はうれしい」という意味があります。聖書には３人のガイオが登場します。一人目は、パウロの第３次宣教旅行のときに同行したマケドニヤ人ガイオ（使 19:29）。二人目は、コリント人でありパウロからバプテスマを受けたガイオ（Ⅰコリント 1:14、ローマ 16:23）。私たちが家主としてよく知っているガイオは、この人です！三人目は、デルベ人でありアジヤまでパウロについて行ったガイオ（使 20:4）です。

二人目のガイオ、つまり家主のガイオは、全教会を世話したほど経済的献身をしました。（ローマ 16:23）このようにあらかじめ見たガイオを通してパウロと伝道者は力を尽くすことができ、ローマ福音化の答えを受けることができたのです。

私たちに適用しよう！

1．あらかじめ見た重職者たちは、それぞれの方法で伝道者を助けました。私たちは、いまの時刻表にどのようにして伝道者を助けるのか、また、どのようにこれから助けたいのかを書きましょう。

2．大人になって、牧師先生、重職者、伝道師の先生といっしょに伝道、宣教をいっしょにする私は、どんな私なのかを想像して書きましょう

3か

あらかじめ見たプリスカ夫婦

使 18:1〜4　その後、パウロはアテネを去って、コリントへ行った。ここで、アクラというポント生まれのユダヤ人およびその妻プリスキラに出会った。クラウデオ帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命令したため、近ごろイタリヤから来ていたのである。パウロはふたりのところに行き、自分も同業者であったので、その家に住んでいっしょに仕事をした。彼らの職業は天幕作りであった。パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人とギリシヤ人を承服させようとした。

1. 神様が備えられた永遠の弟子に会いました

—パウロはプリスカ夫婦という弟子に会いました

1）プリスカという名前の意味は「老いる、古風」です

2）プリスカはパウロの生涯の同労者になりました（ロマ 16:3）

3）プリスカは夫より先に用いられた者でした（使 18:18）

2. コリントの現場で驚くことが起きました

1）プリスカ夫婦はマルコの屋上の間の現場にいました（使 2:10）

2）プリスカ夫婦は、職業が同じ伝道者パウロに会いました（使 18:1〜4）

3）プリスカ夫婦は、エペソで牧会者アポロに福音で答えを与えました（使 18:24〜28）

4）プリスカ夫婦の家がコリント地域を生かすミッションホームになりました（Ｉコリ 16:19）

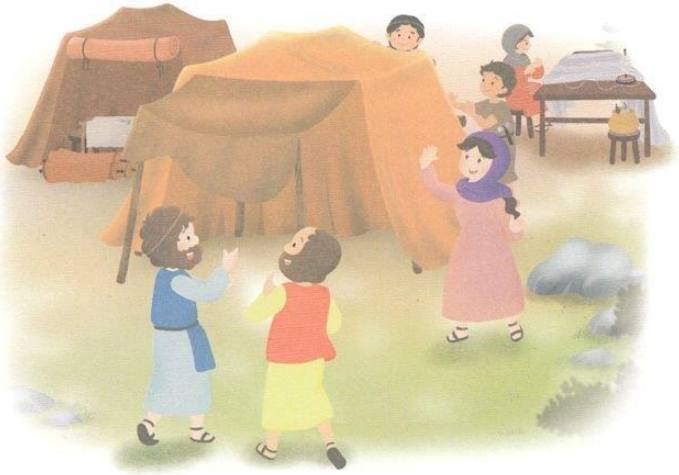
5）プリスカ夫婦は、パウロとすべての伝道者の同労者でした（ロマ 16:3〜4）

3. 以降に起きたことがあります

1）プリスカ夫婦は、会堂運動を広げました

2）プリスカ夫婦は、地教会運動の答えを味わいました

3）プリスカ夫婦は、ローマ福音化の主役になりました



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

18

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

4か

あらかじめ見たガイオ

ロマ 16:23　私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと言っています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと言っています。

1. 神様の絶対主権の中で備えられた弟子でした

ーパウロはガイオという弟子に会いました

1）ガイオはコリントの人でした
2）ガイオは、影響力をもった人でした
3）ガイオは、パウロからバプテスマを受けました（Ｉコリ 1:14）

2. ガイオを通して現場で起きたことがあります

1）ガイオは自分の経済を福音のために使った人物でした
2）ガイオはパウロの家主でした
3）ガイオはすべての伝道者の家主でした

3. 以降に起きたことがあります（ロマ 16:23）

1）ガイオは、すべての伝道者を助ける経済チームを作りました
2）ひたすら伝道のための企画でした
3）経済チームは、ローマ福音化の隠れたチームになりました

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

25

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば